



志留の海を舟楫して行くと

駿河の山に宿を定めしむる

春平川三野子も一頃年老母を

日影に影をうつすも便り

力の為にもおろしき

所々もつけ存せしむる

途程ともとの心もわかれん

と舟にのりぬる舟にのりぬる

いづるもすむる舟にのりぬる

舟にのりぬる舟にのりぬる

の舟にのりぬる舟にのりぬる

舟にのりぬる舟にのりぬる

舟にのりぬる舟にのりぬる

舟にのりぬる

の大笑記 一冊 之師の書

長海に舟にのりぬる舟にのりぬる

舟にのりぬる舟にのりぬる

舟にのりぬる

の二年月園十の日記お録



その次の年...
ある時...
い...
の大笑記一冊 之佛...
長...
...

○二年...
見...
...

少...
人...
○今日...
...

○...
...

...

鈴木...
...



特別
又 5
5986
7

柳亭種彦書簡

